

10月  
例会

「スクウスクの森」里山整備 10月29日(日)開催

参加：総勢 57名

《会員28名、地元16名(子ども5名含む)、育成講座受講生他13名》

5班 高橋 清志

■当日は朝から天気も良く絶好の例会日和となりました。

朝のミーティングは、初参加の方にもわかりやすいように、これまでの経緯の説明と当日の活動の目的や注意事項を確認。その後、4班に別れて各担当エリアに移動しました。

■1班は、最近急にカシノナガキクイムシの害で枯れた里山道にかかるコナラ等4本を伐倒しました。今回は敢えて横に倒す難しいミッションでしたが、経験者が若手に色々な道具の使い方を体験してもらうことを念頭に実施。広葉樹伐倒時の危険性や、ロープ、チルホールの準備、斜面でのチェーンソーによる受け口の入れ方等、班のメンバーはいろいろレクチャーを受けながら伐倒に挑み、多くの方が学べる研修の場となりました。

■2班は、山中の山桜を救う作業。支障木3本、桜に絡んだコナラを1本伐倒しました。桜にピッタリ寄り添うように絡んだコナラは、ロープ掛けから大変で、かかり木となり、チルホールの設定変更等困難を極めましたが、無事に伐倒終了、有意義な体験となりました。

■3班は、薪小屋への車道の整備を行いました。土嚢の作成方法、積み方も経験者からの指導を受け貴重な体験となりました。午後からは柿の木に巻き付いたフジのツルを除去し、柿の木の存在がよくわかるようになりました。

■4班は、ふもとからスクウスクの森への里山道の整備を実施。構成メンバーは中学生、お母さん、初めての方とバラエティーに富んでおり、低木の支障木を中心に整備。皆さんに喜んで頂ける里山道になりました。

午後からは中学生、地元の親子とお母さん方は木工クラフトを作成。他のメンバーは他の班の活動を順次見学、時に参加し、次につながる活動となりました。

■お昼は、地元の方々により栗飯のむすび、猪肉の入った具沢山の味噌汁、各種地元野菜料理、デザートにミント味のとろけるような淡雪羹<sup>あわゆきかん</sup>、柿などを頂きお腹一杯になり、地元ならではの里山の味覚、秋の恵みを堪能しました。

■最後に「スクウスクの森活用実行委員会」の牛尾会長から謝意と今後も魅力ある活動を広めてゆきたいとお言葉頂きました。

■今回は特に、今年度の育成講座中の受講生が、職員に引率され実際の森林ボランティアの活動を体験。「活動を見て学ぶことが多く、活動内容がよく分かり今後も参加したい。」との感想を伺い、大変有意義な例会となりました。

今回の活動も、無事故で終了。皆さんありがとうございました。



**作業風景&班のみんなでパチリ**



**お昼だよ～！**



